



アロハビズ

6月1日～9月30日

周防大島町では、6月1日から9月30日までの間、「アロハビズ」を実施します。アロハビズが大切にしているのは、「アロハスピリット」という考え方です。これは、思いやりや助け合いの心、自然と共に生きる姿勢を意味しており、日々の暮らしや地域活動の中でも活かすことができる、大切な価値観です。

アロハシャツを着用して、「おもてなしの心（アロハの心）」で皆さまを温かくお迎えするとともに、地域の皆さまとともに、この大切なつながりを守り育て、その魅力を広く発信してまいります。

(一財) 山口県大島郡国際文化協会

山口県立大附属周防大島高等学校が開校

4月9日、「山口県立大学附属周防大島高等学校」の開校式と令和8年度入学式が執り行われました。

附属高校はこれまでの「山口県立周防大島高等学校」の設置者を県立大学に変更して開校したもので、地域の教育拠点として新たなスタートを切りました。式典では、県立高校としての最後の卒業生から校旗が返納された後、山口県立大学の岡正朗理事長から、周防大島町出身の新村則人さんがデザインした真新しい校章が刻まれた新校旗が授与されました。

また、新入生を代表して登壇した中村元音さんは、「私たちへの全ての期待をしっかりと受け止めて、私たち自身が成長し、附属高校への新しい歴史づくりに取り組みたい」と力強く決意を述べました。



▲岡正朗理事長から在校生代表へ校旗の授与の様子
◀新入生代表の中村元音さん

今年度の入学生は、普通科85人、介護福祉特別科2人の計87人で、新しい制服に身を包んだ「新入生」たちは、期待と緊張が入り混じる表情で学び舎の門をくぐりました。